

# 新たな一次製品の創出に向けた農産物の 試作支援

予算額：100,000円

計画の位置付：P.41【重点】(1)藤沢ブランドの創出（ア 藤沢ブランドとなる新たな一次製品の創出）

- ▶ 「茅ヶ崎のトルコナス」や「菜速あやせコーン」の事例を参考に、地域の特性を活かした藤沢ブランドとなる新たな一次製品の候補として、生産者が戸別に生産している農産物の組織的な生産を支援します。
- ▶ ブランド化に向けて、容器包装類やラベルシール、普及啓発物品として、POPやチラシの作成費用を実行委員会予算で負担し、販路の拡大につなげるとともに、安定生産を図り付加価値向上を図ります。



茅ヶ崎のトルコナス



菜速あやせコーン



容器包装類等の作成を支援し、販路拡大・安定生産・付加価値向上を図ります



# 未利用魚を活用した加工品の開発支援及び学校給食での活用検討

予算額：200,000円

計画の位置付：P.41【重点】(1)藤沢ブランドの創出（イ 藤沢産農水産物を利用した加工品の開発支援、ウ 未利用魚の認知度向上）

P.43【重点】(2)藤沢産農水産物等の学校・保育園給食供給強化（イ 藤沢産農水産物等の利用促進）

- ▶ 県水産技術センターの助言及び漁業者・加工業者等との検討結果に基づき、容器包装類の作成費用を実行委員会予算で負担するなど、加工品開発を支援します。
- ▶ 藤沢の水産物を学校給食で活用することにより、地域の水産業の理解及び食育の促進を図ります。
- ▶ 学校給食で活用するためには、「300人以上を用意すること」「骨を除去すること」「冷凍状態で納入すること」などの条件があるため、漁業者・加工業者・市学校給食課等と活用の検討を行います。
- ▶ 価値が乏しい未利用魚を活用することにより、食品ロス解消や付加価値向上を図ります。



未利用魚（小鯖、小シイラなど）

すり身・そぼろ・フィレ・煮干しなど、学校給食で活用するための加工等を検討。

6次産業化の取組を推進し、加工品開発を支援。  
【参考】平成25年に小田原の魚ブランド化・消費拡大協議会が神奈川県水産技術センターに委託をし、開発をした未利用・低利用の魚（カマス）を活用した「北条一本ぬきカマス（通称かます棒）」



# 藤沢産農産物を利用した加工品の開発支援

予算額：100,000円

計画の位置付：P.41【重点】(1)藤沢ブランドの創出（イ 藤沢産農水産物を利用した加工品の開発支援）

- ▶ 生産者、JA及び加工業者等と協議し、組織的に生産されている藤沢産農水産物を活用した新たな加工品を対象に、販促用品の作成費用を実行委員会予算で負担し、ブランド化につながる6次産業化の取組を推進します。
- ▶ 例として、藤沢産酒米100%使用した日本酒の開発を支援することにより、6次産業化の取組を推進するとともに、市内の水田保全にも取り組みます。



ラベルや容器包装類等の作成を支援し、販路拡大・付加価値向上を図ります



【参考】藤沢産農水産物を活用した加工品の例

# 小学校でのふりふりバター体験事業

# 保育園児との交流に係る講師謝礼

予算額：50,000円

計画の位置付：P.43【重点(2)藤沢産農水産物等の学校・保育園給食供給強化(ウ 生産者等との交流による藤沢産農水産物等への理解促進)

予算額：20,000円

計画の位置付：P.43【重点(2)藤沢産農水産物等の学校・保育園給食供給強化(ウ 生産者等との交流による藤沢産農水産物等への理解促進、オ 学校・保育園周辺で生産されている農産物の活用)

- ▶ 市内小学校において、市内で搾乳された牛乳等を使用したバターづくり体験事業を実施し、市内畜産業への理解促進、地産地消及び食育の推進を図ります。

※同日にやまゆりポーク生産者協議会と連携して畜産の授業も実施予定。

- ▶ 保育園周辺で生産されている農産物を給食へ供給する際に、生産者と保育園児の交流機会を設け、地域農水産業の理解促進及び食育の推進を図ります。



R3実施状況

# 地産地消イベント事業

## 新嘗祭～オーガニックマルシェ

### ふじさわ元気バザール、サンセットマルシェ

予算額：350,000円

計画の位置付：P.47【重点】(3)地産地消の普及啓発・食育施策等との連携強化（ア 新しい生活様式に応じた藤沢産農水産物等を活用したイベント・講座の開催）

予算額：70,000円

計画の位置付：P.47【重点】(3)地産地消の普及啓発・食育施策等との連携強化（ア 新しい生活様式に応じた藤沢産農水産物等を活用したイベント・講座の開催）

- ▶ 毎月第3土曜日・日曜日に片瀬漁港において、「江の島フィッシャーマンズマルシェ」が開催されることから、昨年度まで実施していた「みなと春マルシェ」は実施場所や時期を変更します。
- ▶ 国が示す「みどりの食料システム戦略」において、2050年までに耕地面積に占める有機農業の取組面積の割合を25%に拡大することを目標にしており、本市においても「第2次藤沢市都市農業振興基本計画」を今年3月に策定し、本市においても同様に拡大することを目標に設定したことから、有機農業に着目したイベント開催します。
  - ◆開催予定日 2022年11月23日（水）勤労感謝の日
  - ◆開催予定場所 辻堂神台公園
  - ◆イベント内容 有機野菜の直売、ブランド化を目指す農水産物や加工品のPR、ポニーの乗馬体験
- ▶ 毎月第2土曜日に藤沢駅北口で開催されている「ふじさわ元気バザール」や毎週水曜日・金曜日に藤沢市役所サンセット広場で開催されている「藤沢産サンセットマルシェ」の中で、藤沢産農水産物のPRを行います。

# 花育体験イベント事業 PR用花き等購入費

予算額：70,000円

計画の位置付：P.47【重点(3)地産地消の普及啓発・食育施策等との連携強化（ア 新しい生活様式に応じた藤沢産農水産物等を活用したイベント・講座の開催、イ 生産者と消費者の交流イベント等の開催）

予算額：100,000円

計画の位置付：P.47【重点(3)地産地消の普及啓発・食育施策等との連携強化（ア 新しい生活様式に応じた藤沢産農水産物等を活用したイベント・講座の開催）

- ▶ 子どもを対象に花の寄せ植え体験を実施し、寄せ植え体験と生産者との交流を通じて、藤沢の花きに対する知識や理解を深めてもらうことにより地産地消の推進を図ります。
- ▶ 市役所本庁舎等において、季節の藤沢産花きを展示し、PRを行います。



# 動画・PVの作成

予算額：371,000円

計画の位置付：P.47【重点】(3)地産地消の普及啓発・食育施策等との連携強化（ア 新しい生活様式に応じた藤沢産農水産物等を活用したイベント・講座の開催）

- ▶ 昨年度開設したYouTubeチャンネル「おいしい藤沢産TV」へ新たな動画を投稿し、藤沢産農産物の『旬』『生産者のこだわり』『美味しい調理方法』を紹介することにより、地産地消の取り組みを推進します。

## ◆動画企画案1◆

タイトル：「農家直伝農家メシ」

構成：オープニング～農産物の紹介～農家直伝農家メシのレシピ紹介～農家のPR～エンディング

## ◆動画企画案2◆

タイトル：「レシピコンテストとのコラボ動画」

構成：オープニング～ノミネートレシピの紹介～審査の様子を紹介～受賞者・審査員へのインタビュー～エンディング

## ◆動画企画案2◆

タイトル：「江の島フィッシャーマンズプロジェクトの取り組み紹介」

構成：オープニング～江の島で採れる未利用魚の紹介～未利用魚の調理例の紹介～江の島フィッシャーマンズマルシェの紹介～エンディング

# 藤沢産利用推進店PR用「食べ歩きマップ」の作成

予算額：100,000円  
計画の位置付：P.49【長期】(1)藤沢産農水産物の付加価値向上に取り組む施策（工 藤沢産農水産物等の需要拡大・供給強化（ア） 藤沢産利用推進店の充実）

- ▶ 「食べ歩きマップ」を作成し、藤沢市内のホテル等に配架してもらい、藤沢産利用推進店のPRを行います。
- ▶ 「藤沢駅周辺」「片瀬江ノ島駅・鵜沼海岸駅周辺」が作成済みのため、これまで「食べ歩きマップ」が作成されていない地域の藤沢産利用推進店のPRを検討します。
- ▶ 外国人観光客受け入れ再開を念頭に、「食べ歩きマップ」の多言語化を検討します。





# 量販店における藤沢産コーナーPR物品

予算額：100,000円

計画の位置付：P.49【長期】(1)藤沢産農水産物の付加価値向上に取り組む施策（工 藤沢産農水産物等の需要拡大・供給強化（イ） 量販店等での藤沢産コーナーの設置促進

- ▶ 地産地消に関するアンケート調査結果によると、「スーパーなどの量販店で藤沢産の農水産物を販売する」ことが求められており、地産地消コーナーを設ける量販店も増加していることから、PR物品を作成し、藤沢産コーナーの設置促進を図ります。



R3に作成したのぼり旗及びPOP